

dBTechnologies

ES 503

3- アンプ コラム PA ステレオシステム

取扱説明書・追補版

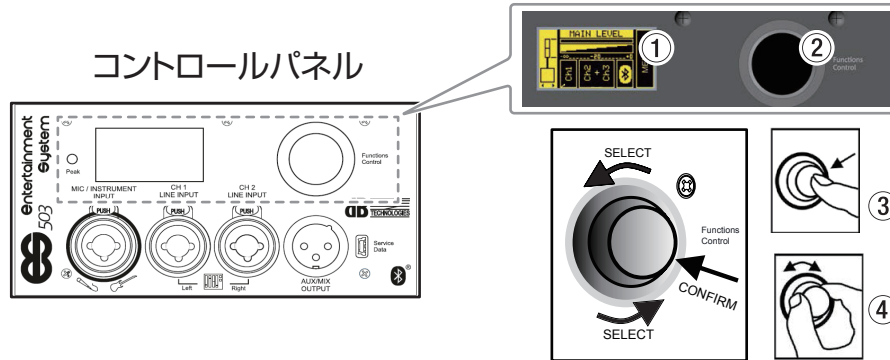
ES 503 ユーザーインターフェース 補足説明 (F/W ver. 2.0以上に対応)

システムパラメーターの各種設定は、コントロールパネルの有機ELディスプレイ (下図①)と**Functions**コントロールダイヤル (以下、**Functions**ダイヤル)(下図②)を使って、確認や設定を行うことができます。

パラメーター設定の確認や選択をするには、**Functions**ダイヤルを1回、押してください。(下図③)

また、長押しすることで他の設定画面に移動します。(ショートカット 機能)

Functionsダイヤルを回すと様々な設定画面を表示したり、選択中のパラメーターを変更することができます。(下図④)

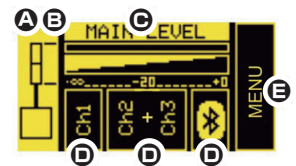


メインメニューとクイック 操作

メインメニュー画面(右図)では、以下の基本的な操作を行うことができます。

- Ⓐ デジタルステアリングの選択 (カバレッジ 角度設定 → 2ページ)
- Ⓑ システム 構成の選択 (スピーカーモードの設定 → 3ページ)
- Ⓒ システムのメイン 音量の設定 (マスターボリューム 設定 → 3ページ)
- Ⓓ 入力設定のページに移動 (信号入力設定画面の表示 → 3ページ)
- Ⓔ 詳細設定のページに移動 (詳細設定 メニューの表示 → 4ページ)

メインメニュー画面



- このメインメニュー画面から、**Functions**ダイヤルを長押しするとショートカットで、システムミキサーにアクセスすることができます。(5ページ「入力/AUXミキサー」の項を参照してください。)
- ダブルコラムステレオ 構成では、2組の本機(L側またはR側)をマスター、またはスレーブとして設定できます。(マスター機とスレーブ 機は、それぞれ1台のみになります。)
- 入力機器を接続して、全ての設定が完了した本機をマスターとして設定でき、スレーブ 側を制御することができます。(スレーブ 側で、設定/調整を行うことはできません。また、スレーブ 側の設定は無効になります。)

操作手順

Ⓐ デジタルステアリングの選択

1. **Functions**ダイヤルを回して、システムダイアグラム(図1)を選択し、ハイライト表示された状態で**Functions**ダイヤルを1回押してください。
2. トップスピーカーのデジタルステアリングを以下の項目から、**Functions**ダイヤルを回して選択できます。
[デジタルステアリングによるカバレッジ 方向]

- UP (上方向に変化)
- FAR (角度変化なし)
- DOWN (下方向に変化)

デジタルステアリングの選択中、システムダイアグラムの下に上下の矢印が表示されます。(図2)

3. 適切なデジタルステアリングを選択したのち、**Functions**ダイヤルを押して確定してください。
4. 続けて[Ⓑ システム 構成の選択]を行います。

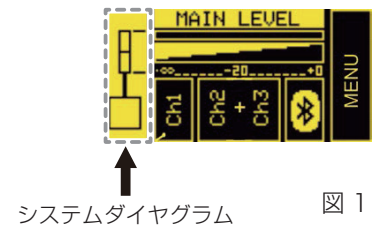


図1

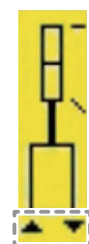


図2

㊦ システム 構成の選択

1. スピーカーのシステム 構成を以下の項目から、**Functions**ダイヤルを回して選択できます。

- モノラル
- ステレオ
- ダブルコラム ステレオ マスター L (ML)
- ダブルコラム ステレオ スレーブ L (SL)
- ダブルコラム ステレオ マスター R (MR)
- ダブルコラム ステレオ スレーブ R (SR)

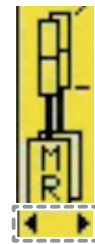


図 3

2. システム 構成を選択中、システムダイアグラムの下に左右の矢印が表示されます。(図 3)
適切なデジタルステリングを選択したのち、**Functions**ダイヤルを押して確定してください。

㊦ システムのメイン 音量の設定

1. **Functions**ダイヤルを回して、**MAIN LEVEL**(図 4) を選択し、ハイライト 表示された状態で**Functions**ダイヤルを1回押してください。

2. **Functions**ダイヤルを回して、本機のシステム 全体の音量を増減させることができます。
適切な**MAIN LEVEL** を調節したのち、**Functions**ダイヤルを押して確定してください。



図 4

㊦ 入力設定のページに移動

● 信号入力設定(図 5 上) を以下の項目から、**Functions**ダイヤルを回して選択できます。

Ch1	
Ch2	3ページ「Ch1/ Ch2/ Ch3 の各入力 パラメーター表」、および
Ch3	4ページ「EQサブメニューのフィルター選択表」を参照
Bluetooth®	4ページ「Bluetoothステレオ 入力のサブ 画面の項目表」を参照

初期状態のCh2/Ch3入力は、1系統のステレオチャンネル 入力(L+R) として設定されています。

サブメニュー画面(図 5 下) が表示された後、入力 タイプを選択することで、2系統の独立したモノラルチャンネルとして使用することができます。

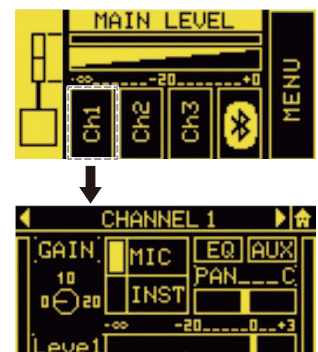


図 5

● Ch1/ Ch2/ Ch3 の各入力 パラメーター表

名称	パラメーター	レンジ
GAIN	入力ゲイン	0, 10, 20 dB
LEVEL	チャンネルレベル	-∞~ 3 dB
TYPE	入力の種類	CH 1 : MIC/INST - CH 2 CH 3 : MIC/LINE
EQ	チャンネルEQ	4ページ「EQサブメニューのフィルター選択表」を参照
AUX	AUX SEND レベル (ダブルコラム 構成時は、設定不可)	-∞~ 3 dB (5ページ「入力/AUXミキサー」参照)
PAN	ステレオ 構成時のパンバランス (モノラル 構成時は、設定不可)	L~R

● EQサブメニューのフィルター選択表 (図 6、7、8 参照)

入力	フィルタータイプ	レンジ
MIC	ハイパス フィルター (HP) アンチ フィードバック	ハイパス フィルター : 50 ~ 200 Hz アンチ フィードバック : 500 ~ 12,000 Hz
INSTRUMENT/LINE	LF : シェルビング MF : セミ・パラメトリック HF : シェルビング	LF/HF : -6 ~ 4 dB MF : -6 ~ 4 dB / 150 ~ 4,000 Hz (中央周波数)



図 6

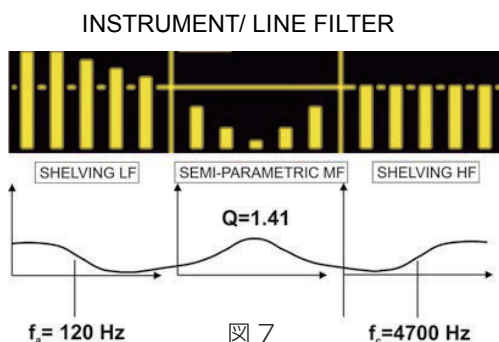


図 7



図 8

● Bluetooth® ステレオ 入力のサブ画面の項目表 (図 9 参照)

入力	フィルタータイプ	レンジ
ON/OFF	Bluetooth® 機能のオン/オフ	ON/OFF
LEVEL	チャンネルレベル	-∞ ~ 3 dB
OPTION	ゲイン (入力ゲイン)	0 ~ 15 dB
	名称 (Bluetooth® 機器の名称)	英数 16文字以内
	パスワード (Bluetooth® 機器のパスワード)	4桁の数字
AUX	AUX SEND レベル (ダブルコラム 構成時は設定不可)	-∞ ~ 3 dB (5ページ「入力/AUXミキサー」参照)



図 9

④ 詳細設定のページに移動

1. MENUボックス (図 10) を選択すると、5ページ「詳細設定メニュー」にアクセスできます。
2. 各サブメニュー画面からメインメニュー画面に戻るには、Functionsダイヤルで画面上のホームアイコン (図 11_a) を選択するか、Functionsダイヤルを長押し (ショートカット機能) してください。(図 11_b)



MENUボックス

図 10



図 11_a



図 11_b

入力/AUXミキサー

メインメニューで**Functions**ダイヤルを数秒間押し続けると、入力ミキサー、出力ミキサー、AUX(AUXバス)ミキサーの各設定画面にアクセスできます。(図 12)

- システム構成がダブルコラムステレオでは、スレーブ側のES 503から設定することはできません。
マスター側のES 503からパラメーターを設定する必要があります。

ミキサー設定には、次の項目があります。

- 入力ミキサー (INPUTS)
- 出力ミキサー (OUTPUTS)
- AUXミキサー (AUX)

各ミキサーの設定は、INPUTS、OUTPUTS、AUXの各設定画面で行えます。

- INPUTS設定画面では、CH1、CH2、CH3、Bluetooth®のレベルが表示されます。
- OUTPUTS設定画面では、個別のサブウーファー、およびシステム全体のレベルのみ表示されます。
- AUX設定画面では、ミキサー内でAUXバスとして、機能するチャンネルのレベルが表示されます。
AUX設定画面で、調整されたモニター音声をAUX出力として出力する場合の設定を行えます。

例)

ES 503システムのAUX出力がモニターに接続された構成で、システム入力に接続された4つのソース(Ch1/ Ch2/ Ch3/Bluetooth®)を入力ミキサーでミックスし、そのうち2つのAUXレベルを独立して調整したのち、接続されたモニターへ出力(図 13)することができます。

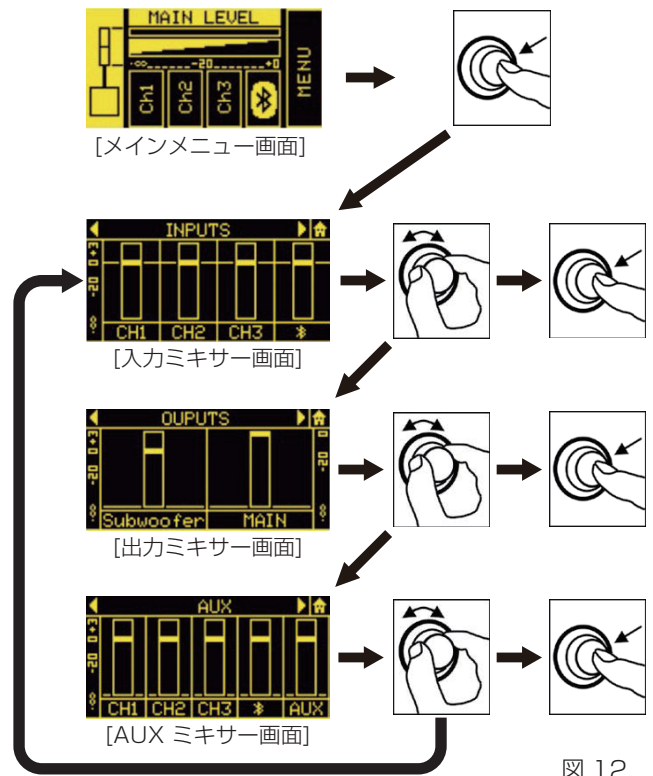


図 12

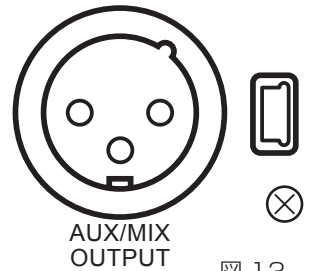


図 13

詳細設定メニュー

システムの詳細設定は、メインメニュー画面から詳細設定メニューにアクセスして行うことができます。

詳細設定メニュー画面には以下の項目があります。

- NEW SYSTEM SETTING (→ 6ページ)
- SYSTEM EQUALIZATION (→ 7ページ)
- SAVE/RECALL MENU (→ 7ページ)
- OPTIONS (→ 8ページ)

「NEW SYSTEM SETTING」と「OPTIONS」にアクセスすると、様々なサブメニュー(選択したシステム構成によって異なります。)にアクセスすることができます。

操作部の**Functions**ダイヤルから、図 14のようにサブメニューを選択します。

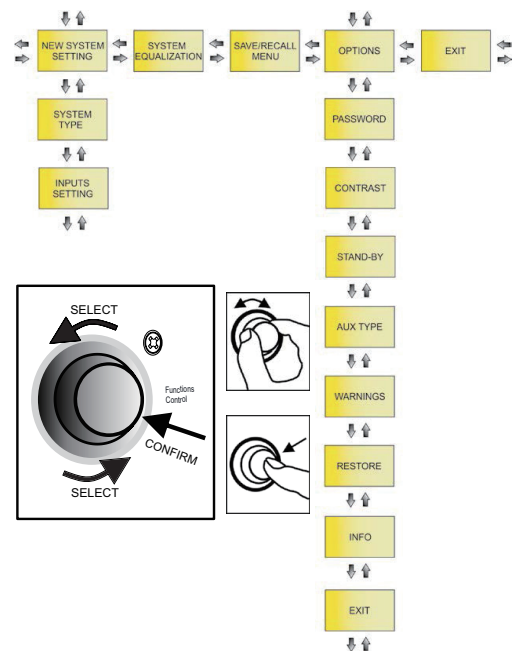


図 14

● **NEW SYSTEM SETTING** (新規 システム 設定)

このサブメニュー画面は、下表に表示されたパラメーターを使って、簡単にシステム 設定を行うことができます。

	システムタイプ		ステアリング	入力設定		
MONO	MONO (モノラル 構成)		UP	CH 1, CH 2, CH 3	ON/OFF	
			FAR		TYPE	MIC/INST (CH1)
			DOWN		MIC/LINE /L+R (CH 2, CH 3)	
			Bluetooth®		GAIN (0, +10, +20) dB	
STEREO	STEREO (ステレオ 構成)		-	CH 1, CH 2, CH 3	ON/OFF	
					TYPE	MIC/INST(CH 1)
					MIC/LINE/L+R (CH 2, CH 3)	
			Bluetooth®		GAIN (0, +10, +20) dB	
DOUBLE (MASTER)	DOUBLE (ダブルコラム 構成)	ML	UP	CH 1, CH 2, CH 3	ON /OFF	
		MR	FAR		TYPE	MIC/INST (CH1)
			DOWN		MIC/LINE/L+R (CH 2, CH 3)	
			Bluetooth®		GAIN (0, +10, +20) dB	
DOUBLE (SLAVE)	DOUBLE (ダブルコラム 構成)	SL	UP	-	-	
		SR	FAR			
			DOWN			

Functionsダイヤルを使って、下図 15を参考にNEW SYSTEM SETTINGの選択/設定/確認を行ってください。

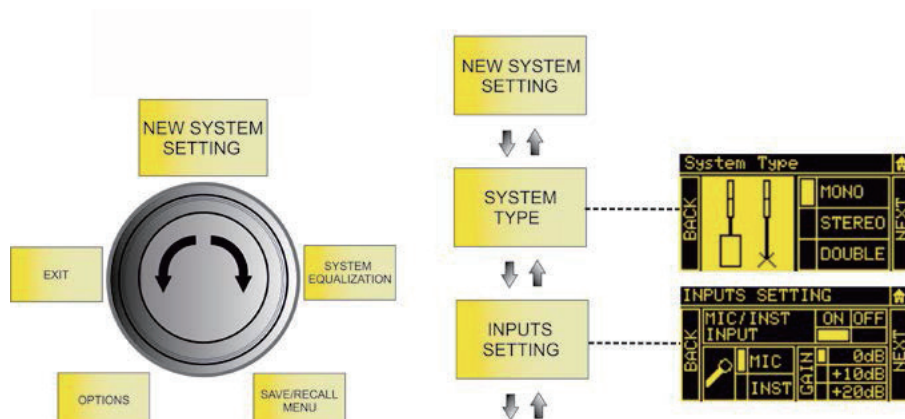


図 15

● **SYSTEM EQUALIZATION** (システムEQ設定)

システム出力の音に適用するフィルターを設定します。

フィルターの種類	設定範囲
LF : シェルビング	-6 ~ 4 dB
MF : セミ・パラメトリック	-6 ~ 4 dB (150 ~ 4,000 Hz (中央周波数帯))
HF : シェルビング	-6 ~ 4 dB

Functionsダイヤルを使って、下図 16を参考にSYSTEM EQUALIZATIONの選択/設定/確認を行ってください。

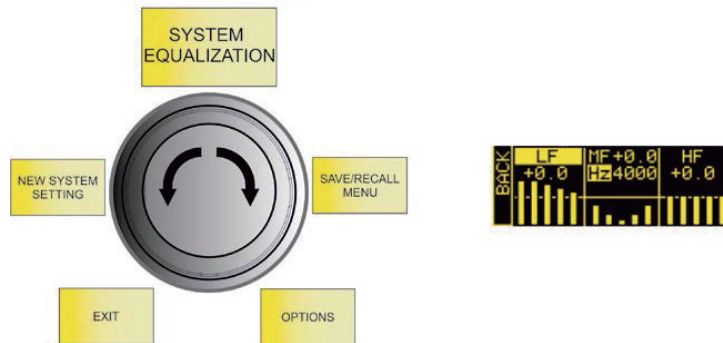


図 16

● **SAVE/RECALL MENU** (保存/読み込みメニュー)

1. SAVE を選択して、これまでに設定した内容をプリセットとして保存します。
2. 設定したプリセットに名前をつけます。
3. RECALL を選択して保存したプリセットを読み込みます。

Functionsダイヤルを使って、下図 17を参考にSAVE/RECALL MENUの選択/設定/確認を行ってください。

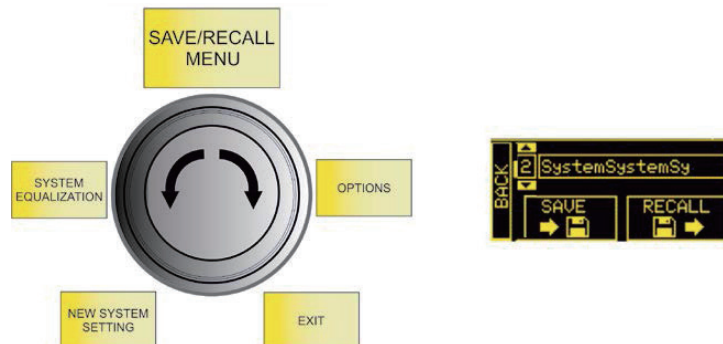


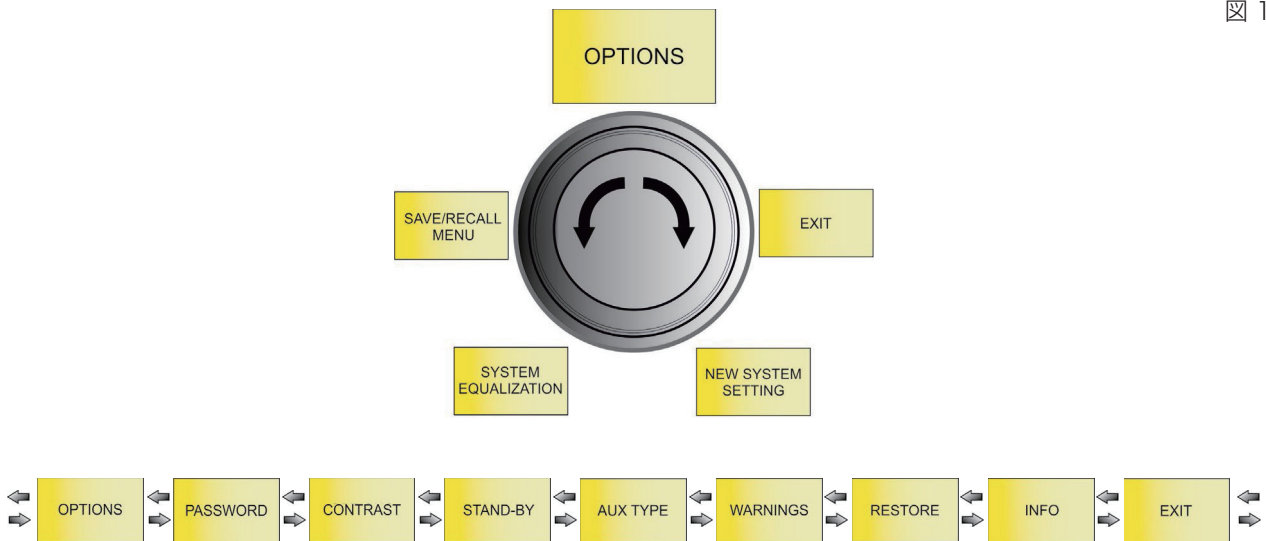
図 17

● **OPTIONS** (オプション)

各種の設定が行えます。

Functions ダイアルを使って、下図 18 を参考に OPTIONS 選択 / 設定 / 確認を行ってください。

図 18



パスワード 設定

1. パスワードを設定し、システムを3段階のレベルで保護することができます。
 - レベル1：音量の操作が可能です。(プリセットの読み込みは可能ですが、保存はできません。)
 - レベル2：音量のみを操作可能です。
 - レベル3：いかなるシステム 設定も変更できません。
2. パスワードを入力してください。
6桁のパスワードを設定できます。

ヒント

ユーザー設定したパスワードを忘れた場合は、以下のスーパーパスワードで復帰できます。

- [Q2R5D9]

CONTRAST

有機ELディスプレイのコントラストを調整します。

- 5%刻みで、[0～100%]の範囲内で設定可能

STANDBY

1. 使用中に有機ELディスプレイを常時点灯か自動消灯させるかを選択できます。
2. 自動消灯する場合、自動消灯するまでの時間を設定できます。
 - 10秒間隔で、[10秒後～10分後]に設定可能

AUX TYPE

ミキサーとして機能し、AUX出力信号のフェーダー連動/非連動を表示します。

- PRE：ミキサー処理前の信号をAUX信号として出力します。
ES 503を個別のモニタースピーカーに出力する場合に最適で、ミキサー設定の影響を受けません。
- POST：ミキサー処理後の信号をAUX信号として出力します。

WARNING

システムからの警告を表示します。

RESTORE

工場出荷時の設定に戻します。

INFO

FWバージョンを表示します。

EXIT

OPTIONS の設定を終了します。